請　願　文　書　表

（文化市民局）

受理番号	４１２	受理年月日	令和８年９月24日
件　　名	京都ポイント支給の公平で平等な実施		
要　　旨	京都市の作っているチラシにマイナンバーカードがない場合はこちらからとＱＲコードがあった。役所に電話で聞いたところ、検討中と言っていたが、マイナカードがなくても支給されるようになったと喜び、ＱＲコードを開いた。出てきたのは委託業者で、カードの作り方を説明するだけであった。新聞報道で言われていた検討の結果がこれかと聞いても業者は何も答えず、役所の担当部局の電話番号すら教えない。教えるなと言われているの一点張りであった。そもそも国は、全国民に行き渡るように自治体へ人口に合わせて交付金を出しているはずである。マイナカードは任意なので、それを条件にしたら漏れる人がいる。しかし、京都市は漏れた人を救う方法を用意することなく切り捨てた。これは市民に公平であるべき行政の姿ではない。税は取るが給付はやらない、こんな馬鹿げた行政は納得ができない。欲しければカードを作れと恐喝まがいで市民に迫るとはとんでもない話である。 不平等な取扱いをやめて欲しいという返答に、カードは誰でも作れるから平等だと全く次元の違うすり替えでごまかしている。京都ポイントにマイナンバーカードのハードルを付けることなく、全市民に国の実施する交付金を直ちに支給されることを願う。また、30万人分の未支給の交付金はどこにため込まれるのかも明らかにしてほしい。 ついては、京都ポイントの支給を公平かつ平等に実施することを願う。		
請　願　者			
紹介議員	西野さち子、やまね智史、とがし　豊、井﨑　敦子		
付託委員会	文教はぐくみ委員会		